



琵琶湖の保全・再生とCO₂ネットゼロに向けた持続可能な森林づくりの推進

- ▶ 本県の森林が持つ多面的機能を持続的に発揮させるためには森林の保全・整備が重要。よって、本県の森林づくりの推進に対して、安定的な支援を図られたい。

【要望先】財務省、農林水産省

1. 提案・要望内容

(1) 森林整備に対する財政支援等

- 琵琶湖の保全・再生、流域治水、「しがCO₂ネットゼロ」に向けて、主伐・再造林や間伐等の推進などの森林整備事業に対する財政支援の強化
- 造林の省力化、低コスト化のための、航空レーザデータの解析やエリートツリー等の優良種苗の生産体制整備に対する支援

(2) 治山事業に対する財政支援

- 近年、増加している集中豪雨や台風等による土砂流出や流木被害への対応や流域治水の推進に向けた治山事業に対する安定的な財政支援

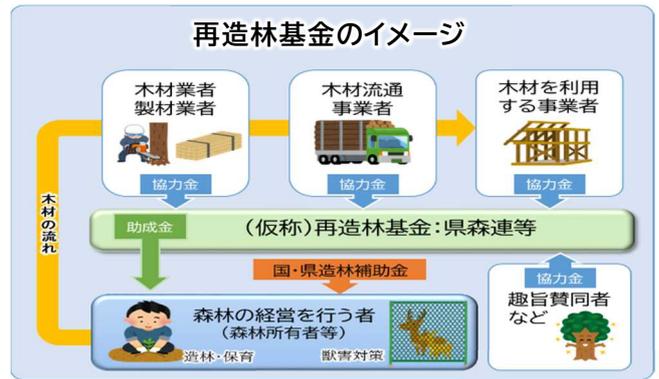
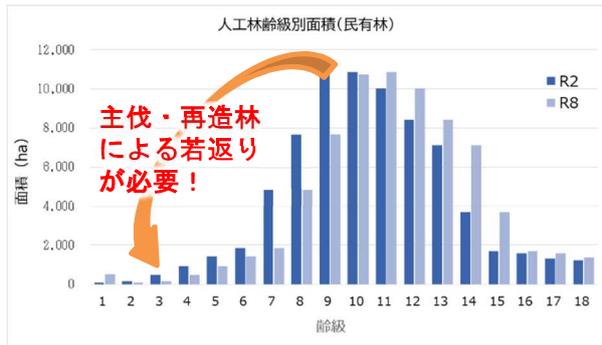
2. 提案・要望の理由

- 本県は、森林の適正管理、林業の成長産業化、さらには農山村の活性化による「やまの健康」の取組をさらに発展。
- 喫緊の課題である地球温暖化対策のために、本県は「しがCO₂ネットゼロ」に取り組んでおり、主伐・再造林による若く生育旺盛な森林づくりと計画的な間伐等の推進により森林吸収源対策の強化が必要。
- 主伐・再造林の推進には、造林適地の選定等に向けた森林情報の精度向上や優良種苗の安定的な供給などにより、造林の省力化・低コスト化の確立が必要。
- 持続可能な林業の構築と再造林への理解醸成に向けて、木材関連事業者による基金造成など、地域で再造林を支える仕組みづくりが必要。
- また、気候変動の影響により大雨の発生頻度がさらに増加することが懸念されるなか、災害復旧工事の早期完了や、防災・減災、国土強靱化のために治山事業への安定的な財政支援が必要。
- 特に、琵琶湖保全再生法に基づく国民的資産である琵琶湖の保全・再生や淀川水系流域治水プロジェクトの推進、SDGsやMLGs(マザーレイクゴールズ)*の目標達成に向けて、本県の森林整備および治山対策のための重点的な財政支援が必要。

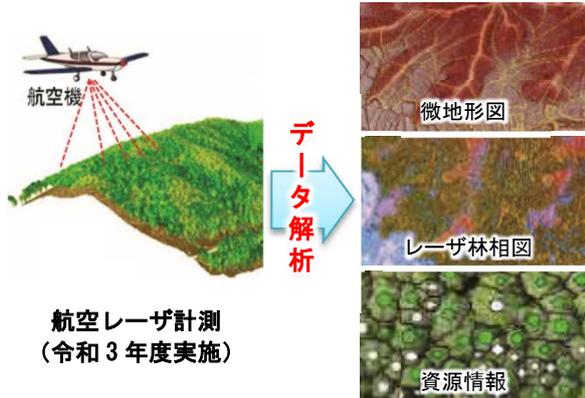
*MLGs(マザーレイクゴールズ)とは、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能な社会への目標(ゴール)であり、「琵琶湖版のSDGs」です。

(本県の取組状況と課題)

■ 森林整備における課題 ■



スマート林業の基礎となるデータ解析



森林管理の様々な場面でデータを活用

- 例えば
- ・所有者情報の精度向上
 - ・造林適地の抽出
 - ・効率的な路網計画
 - ・効果的な生産管理 (ICTを活用した木材需給のマッチング等)



■ 治山事業における取組状況と課題 ■

○ 山腹崩壊による被害及び復旧状況



担当：琵琶湖環境部森林政策課 TEL 077-528-3914
森林保全課 TEL 077-528-3930